

注3

大学番号：031

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

電気通信大学大学院 情報理工学研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 電気通信大学
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 係長 菊池誠治キクチセイジ

電話番号 042-443-5050

（夜間） 042-443-5050

F A X 042-443-5010

e-mail kchosa-k@office.uec.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は事前伺い手続き時の設置計画の概要の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載いただき、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部
(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

	ページ
1 調査対象大学等の概要等	1
2 授業科目の概要	26
3 既設大学等の状況	51
4 教員組織の状況	52
5 その他全般的事項	60

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 電気通信大学

(2) 大学名

電気通信大学

(3) 大学の位置

〒182-8585

東京都調布市調布ヶ丘1丁目5番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報理工学研究科 総合情報学専攻(博士前期課程) 修士(工学) (理学) (学術)	2年	74人	148人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員超過率		備考
	平成22年度	平成23年度			
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
A 入学定員	74 () []	74 () []	1.35倍		
志願者数	155 (2) [11]	1 (0) [1]	150 (0) [8]	- (-) [-]	
受験者数	143 (2) [9]	1 (0) [1]	143 (0) [6]	- (-) [-]	
合格者数	124 (2) [8]	1 (0) [1]	93 (0) [3]	- (-) [-]	
B 入学者数	112 (2) [7]	1 (0) [1]	88 (0) [3]	- (-) [-]	
入学定員超過率 B/A	1.52		1.18		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成22年度		平成23年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[7] 112	[1] 1	[3] 88	[1] 1	
2年次	/		[7] 112	[-] -	
計			[8] 113	[11] 201	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(情報理工学研究科 総合情報学専攻 博士前期課程)
 (4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積) 計 [8]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 113人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報理工学研究科 総合情報学専攻(博士後期課程) 博士(工学) (理学) (学術)	3年	6人	18人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	6 () []	6 () []	6 () []	- () []	- () []	- () []	1.91倍	
志願者数	13 (6) [1]	4 (2) [1]	7 (0) [2]	- () []	- () []	- () []		
受験者数	13 (6) [1]	4 (2) [1]	7 (0) [2]	- () []	- () []	- () []		
合格者数	13 (6) [1]	4 (2) [1]	7 (0) [2]	- () []	- () []	- () []		
B 入学者数	12 (5) [1]	4 (2) [1]	7 (0) [2]	- () []	- () []	- () []		
入学定員超過率 B/A	2.66		1.16					

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 12	[1] 4	[2] 7	[1] 4	[-] -	[-] -	
2年次	/		[1] 12	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次	/		/		[-] -	[-] -	
計	[2] 16		[4] 23		[-] -		

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(情報理工学研究科 総合情報学専攻 博士後期課程)
 (4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [2]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 16人	
	(主な退学理由)		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [4]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 16人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 7人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報理工学研究科 情報・通信工学専攻(博士前期課程) 修士(工学) (理学) (学術)	2年	103人	206人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	103 () []	103 () []	103 () []	-	1.12倍	
志願者数	169 (3) [19]	2 (0) [2]	169 (1) [17]	-		
受験者数	160 (3) [17]	2 (0) [2]	153 (1) [15]	-		
合格者数	123 (2) [12]	2 (0) [2]	126 (0) [10]	-		
B 入学者数	111 (2) [9]	2 (0) [2]	120 (0) [10]	-		
入学定員超過率 B/A	1.09	1.16				

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成22年度		平成23年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[9] 111	[2] 2	[10] 120	[2] 2	
2年次	/		[9] 110	[-] -	
計	[11] 113		[21] 232		

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [11]	0.9%
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 113人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 1人		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報理工学研究科 情報・通信工学専攻(博士後期課程) 博士(工学) (理学) (学術)	3年	9人	27人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	9人 () []	9人 () []	9人 () []	- () []	- () []	- () []	1.05倍	
志願者数	4 (1) [2]	8 (1) [5]	11 (5) [3]	- () []	- () []	- () []		
受験者数	4 (1) [2]	8 (1) [5]	11 (5) [3]	- () []	- () []	- () []		
合格者数	4 (1) [2]	8 (1) [5]	9 (4) [2]	- () []	- () []	- () []		
B 入学者数	3 (1) [1]	7 (1) [4]	9 (4) [2]	- () []	- () []	- () []		
入学定員超過率 B/A	1.11		1.00					

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 3	[4] 7	[2] 9	[4] 7	[-] -	[-] -	
2年次	/		[1] 3	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次	/		/		[-] -	[-] -	
計	[5] 10		[7] 19		[-] -		

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [5]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 10人	
	(主な退学理由)		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [7]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 10人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 9人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報理工学研究科 知能機械工学専攻(博士前期課程) 修士(工学) (理学) (学術)	2年	69人	138人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員超過率		備考
	平成22年度	平成23年度			
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
A 入学定員	69 () []	69 () []	1.40倍		
志願者数	154 (0) [18]	0 (0) [0]	165 (0) [17]	- (-) [-]	
受験者数	143 (0) [17]	0 (0) [0]	152 (0) [17]	- (-) [-]	
合格者数	119 (0) [12]	0 (0) [0]	99 (0) [6]	- (-) [-]	
B 入学者数	106 (0) [11]	0 (0) [0]	89 (0) [5]	- (-) [-]	
入学定員超過率 B/A	1.53		1.28		

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成23年度		備 考
	平成22年度	平成23年度	春入学	秋入学	
1年次	[11] 106	[0] 0	[5] 89	[0] 0	
2年次	/		[11] 106	[-] -	
計			[11] 106	[16] 195	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [11]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 106人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報理工学研究科 知能機械工学専攻(博士後期課程) 博士(工学) (理学) (学術)	3年	5人	15人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5人 () []	5人 () []	5人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.80倍	
志願者数	8 (0) [1]	2 (2) [0]	8 (1) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
受験者数	8 (0) [1]	2 (2) [0]	8 (1) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
合格者数	8 (0) [1]	2 (2) [0]	8 (1) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
B 入学者数	8 (0) [1]	2 (2) [0]	8 (1) [3]	- (-) [-]	- (-) [-]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	2.00		1.60					

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成22年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 8	[0] 2	[3] 8	[0] 2	[-] -	[-] -	
2年次	/		[1] 6	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次	/		/		[-] -	[-] -	
計	[1] 10		[4] 16		[-] -		

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [1]	20.0%
	うち平成22年度入学者 2人	うち平成22年度 10人	
	(主な退学理由) ・他の教育機関への入学・転学 2人		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [4]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 8人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 8人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報理工学研究科 先進理工学専攻(博士前期課程) 修士(工学) (理学) (学術)	2年	94人	188人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	94 () []	94 () []	94 () []	94 () []	1.08倍	
志願者数	164 (0) [11]	0 (0) [0]	144 (0) [9]	- (-) [-]		
受験者数	157 (0) [11]	0 (0) [0]	136 (0) [9]	- (-) [-]		
合格者数	123 (0) [7]	0 (0) [0]	118 (0) [6]	- (-) [-]		
B 入学者数	104 (0) [6]	0 (0) [0]	101 (0) [5]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.10	1.07				

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度 平成22年度		平成23年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[6] 104	[0] 0	[5] 101	[0] 0	
2年次	/		[5] 103	[-] -	
計			[6] 104	[10] 204	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(情報理工学研究科 先進理工学専攻 博士前期課程)
 (4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [1]	(累積)計 [6]	1.0%
	うち平成22年度入学者 1人	うち平成22年度 104人	
	(主な退学理由) ・除籍 1人		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
情報理工学研究科 先進理工学専攻(博士後期課程) 博士(工学) (理学) (学術)	3年	9人	27人	基礎となる学部名等 情報理工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成23年度		平成24年度		平均入学定員超過率	備考
	平成22年度	平成23年度	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	9人 () []	9人 () []	9人 () []	- () []	- () []	- () []	0.77倍	
志願者数	3 (0) [1]	3 (0) [3]	11 (1) [3]	- () []	- () []	- () []		
受験者数	3 (0) [1]	2 (0) [2]	11 (1) [3]	- () []	- () []	- () []		
合格者数	3 (0) [1]	2 (0) [2]	11 (1) [3]	- () []	- () []	- () []		
B 入学者数	3 (0) [1]	2 (0) [2]	9 (1) [1]	- () []	- () []	- () []		
入学定員超過率 B/A	0.55		1.00					

- (注) ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成23年度		平成24年度		備 考
	春入学	秋入学	春入学	秋入学	春入学	秋入学	
1年次	[1] 3	[2] 2	[1] 9	[2] 2	[-] -	[-] -	
2年次	/		[1] 3	[-] -	[-] -	[-] -	
3年次	/		/		[-] -	[-] -	
計	[3] 5		[4] 14		[-] -		

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
 - ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [3]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 5人	
	(主な退学理由)		
平成23年度 (平成23年4月1日～ 平成24年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [4]	0.0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 5人	
	うち平成23年度入学者 0人	うち平成23年度 9人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した在学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 総合情報学専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通 教育科目	大学院総合コミュニケーション科学	1・2前	2			1							
大 学 院 教 養 教 育 科 目	技術者と安全・環境・倫理	1・2前		2		1						教育内容充実のため、専任准教授2名 で対応（うち1名は平成21年度に専任 講師から専任准教授に昇任）(22)	
	国際社会の政治・経済	1・2前		2			2						
	日本とアジアの近代史	1・2後		2									
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2後		2			1						
	幾何学基礎論	1・2前		2		1	1						
	解析学基礎論	1・2前		2			2	1					
	代数学基礎論	1・2前		2		1	1						
幾何学特論	1・2後		2		1	1					教育内容充実のため、専任准教授3名 で対応(23)		
大 学 院 教 養 教 育 科 目	解析学特論	1・2後		2		2	3	1				教育内容充実のため、専任准教授2名 で対応（うち1名は平成21年度に専任 講師から専任准教授に昇任）(22)	
	代数学特論	1・2後		2		1	1						
	Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2後		2		1						教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23)	
	Advanced International Academic Skills	1・2後		2			1					教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23)	
大 学 院 実 践 教 育 科 目	大学院輪講第一（Ⅰ）	1・2前	1			15	17	20	2			専任教授・専任准教授の退職、昇任、 採用に伴う変更(23)	
	大学院輪講第一（Ⅱ）	1・2後	1			15	17	20	2				
	大学院輪講第一（Ⅲ）	1・2前	1			15	17	20	2				
	大学院輪講第一（Ⅳ）	1・2後	1			15	17	20	2				
	大学院技術英語	1・2前	2			1							
	ベンチャービジネス特論	1・2前		2									
	知的財産権特論	1・2後		2									
	先端技術開発特論	1・2後		2									
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2通		2		1	2			1			実験教育内容充実のため教授2名、准 教授1名、助教1名で対応(22)
	大学院国際プロジェクト	1・2前		2		1	2			2			実践教育内容充実のため教授2名、准 教授2名で対応(22)
	危機・限界体験特別実験	1・2通		2		1	2			1			実験教育内容充実のため教授2名、准 教授1名、助教1名で対応(22)
大学院インターンシップ	1・2前		2										
大学院インターンシップ（海外）	1・2前		2										
大学院インターンシップ（長期）	1・2前		4										
大学院インターンシップ（海外・長期）	1・2前		4										
大 学 院 専 門 教 育 科 目	連携 専 門 科 目	総合情報学専攻基礎	1・2前		2		15	17	20	2		専任教授・専任准教授の退職、昇任、 採用に伴う変更(23)	
		メディアアート論	1・2前		2			1					
		情報メディアデザイン	1・2前		2			1					
		知的学習システム	1・2前		2			1					
		コンピュータグラフィックス	1・2前		2			1					
		データマイニング	1・2前		2				1				
		音声音響情報処理	1・2前		2		1						
		実践ソフトウェア開発基礎論	1・2前		2		1						
		情報理論基礎	1・2後		2			1					
		数理統計学基礎	1・2後		2		1						
	実践ソフトウェア開発概論Ⅰ	1・2前		2							教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(23)		
	実践ソフトウェア開発概論Ⅲ	1・2後		2							教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(23)		
	専 門 展 開 科 目	メディア論特論	1・2前		2		1					専任准教授1名が平成22年度に退職の ため後任補充までの間、兼任教員が担 当。なお、学生の教育に支障はない。 (23)	
		認知科学特論	1・2前		2			1					
画像認識システム特論		1・2前		2			1						
認知プロセス論特論		1・2前		2			1						
視覚情報処理特論	1・2前		2			1							
コミュニケーション論特論	1・2前		2				1						
計算機科学特論	1・2後		2		1								
インタラクティブシステム特論	1・2後		2			1							

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 45	科目 0	科目 47	科目 2 []	科目 47 [2]	科目 0 []	科目 49 [2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 情報・通信工学専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通教育科目	大学院総合コミュニケーション科学	1・2前	2			1							
大学院教養教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2前		2		1						教育内容充実のため、専任准教授2名で対応（うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任）(22)	
	国際社会の政治・経済	1・2前		2			2						
	日本とアジアの近代史	1・2後		2									
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2後		2			1						
	幾何学基礎論	1・2前		2		1	1						
	解析学基礎論	1・2前		2			2		4				
	代数学基礎論 幾何学特論	1・2前 1・2後		2 2		1 1	1 1						
大学院教養教育科目	解析学特論	1・2後		2			3		4		教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(23)		
	代数学特論	1・2後		2		1	1				教育内容充実のため、専任准教授2名で対応（うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任）(22)		
	Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2後		2		1					教育内容充実のため科目を追加（高度な英語技術科目の増設）(23)		
	Advanced International Academic Skills	1・2後		2			1				教育内容充実のため科目を追加（高度な英語技術科目の増設）(23)		
大学院実践教育科目	大学院輪講第一（Ⅰ）	1・2前	1			23	24	2	1			専任教授・専任准教授・専任講師の退職、昇任、採用に伴う変更(23)	
	大学院輪講第一（Ⅱ）	1・2後	1			23	24	2	1			専任教授・専任准教授・専任講師の退職、昇任、採用に伴う変更(23)	
	大学院輪講第一（Ⅲ）	1・2前	1			23	24	2	1			専任教授・専任准教授・専任講師の退職、昇任、採用に伴う変更(23)	
	大学院輪講第一（Ⅳ）	1・2後	1			23	24	2	1			専任教授・専任准教授・専任講師の退職、昇任、採用に伴う変更(23)	
	大学院技術英語	1・2前	2			1							
	ベンチャービジネス特論	1・2前		2									
	知的財産権特論	1・2後		2									
	先端技術開発特論	1・2後		2									
	ETL (Elementary Teaching Laboratory)	1・2通		2		4	2	1		1		実験教育内容充実のため教授2名、准教授1名、助教1名で対応(22)	
	大学院国際プロジェクト	1・2前		2		4	2	2				実践教育内容充実のため教授2名、准教授2名で対応(22)	
	危機・限界体験特別実験	1・2通		2		4	2	1		1		実験教育内容充実のため教授2名、准教授1名、助教1名で対応(22)	
大学院専門教育科目	①情報通信システムコース	連携専門科目	情報・通信工学専攻基礎	1・2前		2		23	24	2	1		専任教授・専任准教授・専任講師の退職、昇任、採用に伴う変更(23)
			情報伝送基礎	1・2前		2		1					
			情報通信ネットワーク	1・2前		2		4	2	1			専任教授、専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
			データ圧縮基礎	1・2前		2		1	4				専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
			回路システム基礎	1・2後		2		1	2	1			専任准教授1名が専任教授1名に昇任(23)
	②情報通信システムコース	専門展開科目	集積回路設計特論	1・2前		2		4	2				教育内容充実のため教授2名で対応(22)
			マイクロ波回路設計特論	1・2前		2			3	1			専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
			環境電磁工学特論	1・2前		2		4	2	1			専任教授、専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
			無線通信システム特論	1・2前		2		2	1				
			情報理論特論	1・2後		2		4	1				専任教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授に変更した。
情報光学特論	1・2後		2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
大学院 専門 教育 科目	① 情報 学 専 門 展 開 科 目	マルチメディアコンピューティング特論	1・2後	2		1						専任准教授1名が専任教授1名に昇任 (23) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(22) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(22)		
		マルチエージェントシステム特論	1・2後	2		1	4							
		知的情報処理特論	1・2後	2		1								
		リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前	4		1								
		制御系設計応用	1・2後	4		1								
	② 経営 情報 学 専 門 展 開 科 目	連 携 専 門 科 目	総合情報学専攻基礎	1・2前	2		15	17	20	2			専任教授・専任准教授の退職、昇任、 採用に伴う変更(23) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(23) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(23)	
			データマイニング	1・2前	2					1				
			会計情報システム	1・2前	2									
			経営情報システム	1・2前	2		1							
			経営計画	1・2前	2									
			ソフトウェア品質学	1・2前	2						1			
			実践ソフトウェア開発基礎論	1・2前	2		1							
			情報理論基礎	1・2後	2				1					
			数理統計学基礎	1・2後	2			1						
		実践ソフトウェア開発概論Ⅱ	1・2前	2										
		実践ソフトウェア開発概論Ⅲ	1・2後	2										
		専 門 展 開 科 目	品質情報管理特論	1・2前	2				1				専任教授1名が平成22年度に定年退職 のため、後任補充までの間、兼任教員 が担当。なお、学生の教育に支障はな い。(23)	
			金融工学特論	1・2前	2				1					
	生体システム工学特論		1・2前	2			1							
	システム最適化特論		1・2前	2										
	③ セキ ュリ テイ 情 報 学 専 門 展 開 科 目	連 携 専 門 科 目	経営システム工学特論	1・2前	2			4				教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(22) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(22)		
			知能システム特論	1・2前	2					1				
			認知科学特論	1・2前	2						1			
			認知情報システム特論	1・2後	2						1			
			生産システム特論	1・2後	2			1						
			システム信頼性特論	1・2後	2			1						
			情報経済システム特論	1・2後	2			1						
			リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前	4			1						
制御系設計応用	1・2後	4			1									
③ セキ ュリ テイ 情 報 学 専 門 展 開 科 目	連 携 専 門 科 目	総合情報学専攻基礎	1・2前	2		15	17	20	2			専任教授・専任准教授の退職、昇任、 採用に伴う変更(23) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(23) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(23)		
		データマイニング	1・2前	2					1					
		ソフトウェア品質学	1・2前	2						1				
		情報ネットワーク基礎	1・2前	2										
		情報メディアデザイン	1・2前	2					1					
		実践セキュリティ論	1・2前	2										
		実践ソフトウェア開発基礎論	1・2前	2			1							
		情報理論基礎	1・2後	2					1					
		数理統計学基礎	1・2後	2			1							
		実践ソフトウェア開発概論Ⅱ	1・2前	2										
	実践ソフトウェア開発概論Ⅲ	1・2後	2											
	専 門 展 開 科 目	メディアセキュリティ特論	1・2前	2		1						教育内容充実のため、専任准教授1名 で対応(23) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(22) 教育内容充実のため科目を追加（高度 な情報技術科目の増設）(22)		
		ネットワークセキュリティ特論	1・2前	2				1						
		応用代数学特論	1・2前	2			1							
		ネットワークシステム特論	1・2前	2			1							
		離散情報構造特論	1・2前	2					1					
		知能システム特論	1・2前	2					1					
画像認識システム特論		1・2前	2					1						
視覚情報処理特論	1・2前	2					1							
計算機科学特論	1・2後	2			1									
ソフトウェアセキュリティ特論	1・2後	2					1							
暗号理論特論	1・2後	2			1									
マルチメディアコンピューティング特論	1・2後	2			1									
知的情報処理特論	1・2後	2			1									
リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前	4			1									
制御系設計応用	1・2後	4			1									

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院 ② 電子情報システムコース 専門展開科目	宇宙通信工学特論	1・2後		2		4	2	1				専任教員、専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。(22) 教育内容充実のため教授2名で対応(22)	
	光通信システム特論	1・2後		2		4	2						
	暗号理論特論	1・2後		2		1							
	センシング工学特論	1・2後		2		4	1					専任教員の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)	
	マルチメディア信号処理特論	1・2前		2		1	4	1				教育内容充実のため教授1名、講師1名で対応(23)	
	信号解析学特論	1・2前		2			1						
	リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前		4		1						教育内容充実のため科目を追加(高度な情報技術科目の増設)(22)	
	制御系設計応用	1・2後		4		1						教育内容充実のため科目を追加(高度な情報技術科目の増設)(22)	
	連携専門科目	情報・通信工学専攻基礎	1・2前		2		23	24	2	1			専任教員・専任准教授・専任講師の退職、昇任、採用に伴う変更(23)
		回路システム基礎	1・2後		2		1	2	1				専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない(22)
		デジタル信号処理基礎	1・2前		2		1	4					専任教授、専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		情報通信ネットワーク	1・2前		2		4	2	1				専任教授の負担軽減のため平成22年度に専任教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		データ圧縮基礎	1・2前		2		1	4					専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		情報システム基礎	1・2前		2			1	4				専任講師の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	専門展開科目	伝送工学特論	1・2前		2			4	2				専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授2名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		電磁波環境観測技術特論	1・2後		2		2	1					
		情報光学特論	1・2後		2		1						
		生体電子工学特論	1・2後		2		4	4					専任教授、専任准教授の負担削減のため、兼任教員が担当。なお、学生の教育に支障はない。(23)
		センシング工学特論	1・2後		2		4	1					教育内容充実のため教授1名、准教授1名で対応(22)
		マルチメディア信号処理特論	1・2前		2		1	4	1				専任教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
		集積回路設計特論	1・2前		2		4	2					教育内容充実のため教授2名で対応(22)
		非線形システム特論	1・2後		2			1					
		ヒューマンインタフェース特論	1・2後		2			1					
音響システム特論		1・2前		2		1							
ファジシステム工学特論		1・2後		2		1							
信号解析学特論		1・2前		2			1						
リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前		4		1						教育内容充実のため科目を追加(高度な情報技術科目の増設)(22)		
制御系設計応用	1・2後		4		1						教育内容充実のため科目を追加(高度な情報技術科目の増設)(22)		
大学院 ③ 情報数理工学コース 専門展開科目	連携専門科目	情報・通信工学専攻基礎	1・2前		2		23	24	2	1		専任教授・専任准教授・専任講師の退職、昇任、採用に伴う変更(23)	
		計算機アーキテクチャ基礎論	1・2前		2		1						
		応用解析基礎論	1・2前		2		1						
		アルゴリズム基礎論	1・2前		2			1					
		応用アルゴリズム論	1・2後		2		1						
		ハイパフォーマンスコンピューティング基礎論	1・2後		2			1					
	シミュレーション理工学基礎論	1・2後		2			1						
	専門展開科目	ハイパフォーマンスコンピューティング特論	1・2前		2			1					
		並列分散システム特論	1・2後		2			1					
		シミュレーション理工学特論	1・2後		2		4	1					より教育内容に即した担当者への変更(22)
アルゴリズム特論		1・2後		2			1	4				専任講師1名が専任准教授1名に昇任(23)	
	応用解析学特論	1・2後		2		1	1						
	オペレーションズリサーチ特論	1・2後		2		1							

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 83	科目 0	科目 89	科目 6	科目 97	科目 0	科目 103	
				[]	[14]	[]	[14]	

(注) ・未開講である場合や、配当年度に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年度	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年度に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年度	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
④ コンピュータサイエンス 専門展開科目	知能情報特論	1・2後		2		1						教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22) 教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)
	理論計算機科学特論	1・2前		2			1					
	ソフトウェア基礎特論	1・2前		2		1						
	計算機構特論	1・2前		2		1						
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2後		2			1					
	リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前		4		1						
	制御系設計応用	1・2後		4		1						
	情報・通信工学専攻基礎	1・2前		2		23	24	2	1			専任教員・専任准教授・専任講師の退職、昇任、採用に伴う変更(23)
	アルゴリズム基礎論	1・2前		2			1					
	応用アルゴリズム論	1・2後		2		1						
	プログラム言語基礎論	1・2前		2		1						
	計算機アーキテクチャ基礎論	1・2前		2		1						
	ハイパフォーマンスコンピューティング基礎論	1・2後		2			1					
	画像認識システム特論	1・2前		2			1					専任講師1名が専任准教授1名に昇任(23) 専任教授1名が平成22年度に定年退職のため後任補充までの間、兼任教員が担当。なお、学生の教育に支障はない。(23) 教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22) 教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)
マルチメディアコンピューティング特論	1・2後		2		1							
ソフトウェアセキュリティ特論	1・2後		2			1						
ヒューマンインタフェース特論	1・2後		2			1						
オペレーションズリサーチ特論	1・2後		2		1							
知能情報特論	1・2後		2		1							
アルゴリズム特論	1・2後		2			1		+				
ハイパフォーマンスコンピューティング特論	1・2前		2			1						
ソフトウェア基礎特論	1・2前		2		1							
情報ネットワーク特論	1・2後		2			+						
計算機構特論	1・2前		2		1							
ネットワークアプリケーション特論	1・2後		2			1						
並列分散システム特論	1・2後		2			1						
リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前		4		1							
制御系設計応用	1・2後		4		1							

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません。）

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 総合情報学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通 教育科目	大学院総合コミュニ ケーション科学	1・2・3前		2		1						
大学院 教養 教育 科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2		1						
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2			2					
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2・3後		2			1					
	幾何学特論	1・2・3後		2		1	1					
	解析学特論	1・2・3後		2			2	3	4			教育内容充実のため、専任准教授3名で 対応(23) 教育内容充実のため、専任准教授2名で 対応（うち1名は平成21年度に専任講師 から専任准教授に昇任）(22)
大学院 教養 教育 科目	代数学特論	1・2・3後		2		1	1					
	Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2・3後		2		1						教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23)
	Advanced International Academic Skills	1・2・3後		2			1					教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23)
大学院 実践 教育 科目	大学院輪講第二	1～3通	4			14	11					
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2								
	知的財産権特論	1・2・3後		2								
	先端技術開発特論	1・2・3後		2								
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		4	2	1		1		実験教育内容充実のため教授2名、准 教授1名、助教1名で対応(22)
	技術経営実践スクール	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ（海外）	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ（長期）	1・2・3前		4								
大学院インターンシップ（海外・長期）	1・2・3前		4									
大学院 専門 教育 科目	メディア論特論	1・2・3前		2		1						
	認知科学特論	1・2・3前		2			1					
	画像認識システム特論	1・2・3前		2			1					
	認知プロセス論特論	1・2・3前		2			1					
	視覚情報処理特論	1・2・3前		2			1					
	コミュニケーション論特論	1・2・3前		2				4				専任准教授1名が平成22年度に退職の ため後任補充までの間、兼任教員が担 当。なお、学生の教育に支障はない。 (23)
	計算機科学特論	1・2・3後		2		1						
	インタラクティブシステム特論	1・2・3後		2			1					
	マルチメディアコンピューティング特論	1・2・3後		2		1						
	マルチエージェントシステム特論	1・2・3後		2		1	4					専任准教授1名が専任教授1名に昇任 (23)
	知的情報処理特論	1・2・3後		2		1						
	品質情報管理特論	1・2・3前		2			1					
	金融工学特論	1・2・3前		2			1					
	生体システム工学特論	1・2・3前		2		1						
	システム最適化特論	1・2・3前		2								
経営システム工学特論	1・2・3前		2			4					専任教授1名が平成22年度に定年退職 のため後任補充までの間、兼任教員が 担当。なお、学生の教育に支障はな い。(23)	
知能システム特論	1・2・3前		2				1					
認知情報システム特論	1・2・3後		2				1					
生産システム特論	1・2・3後		2			1						
システム信頼性特論	1・2・3後		2			1						

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 92	科目 0	科目 98	科目 6	科目 102	科目 0	科目 108	
				[]	[10]	[]	[10]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ファジイシステム工学特論	1・2・3後		2		1						より教育内容に即した担当者への変更(22) 専任講師1名が専任准教授1名に昇任(23)
	ハイパフォーマンスコンピューティング特論	1・2・3前		2			1					
	並列分散システム特論	1・2・3後		2			1					
	シミュレーション理工学特論	1・2・3後		2		1	1					
	アルゴリズム特論	1・2・3後		2			1	1				
	応用解析学特論	1・2・3後		2		1	1					
	オペレーションズリサーチ特論	1・2・3後		2		1						
	知能情報特論	1・2・3後		2		1						
	理論計算機科学特論	1・2・3前		2			1					
	ソフトウェア基礎特論	1・2・3前		2		1						
	計算機構特論	1・2・3前		2		1						
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3後		2			1					
	画像認識システム特論	1・2・3前		2			1					
	マルチメディアコンピューティング特論	1・2・3後		2		1						
	情報ネットワーク特論	1・2・3後		2		1					専任教授1名が平成22年度に定年退職のため後任補充までの間、兼任教員が担当。なお、学生の教育に支障はない。(23)	
	ネットワークアプリケーション特論	1・2・3後		2			1					
専門 上級 科目	情報・通信工学特論	1・2・3前	2			23	22	2				

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 51	科目 0	科目 53	科目 2	科目 53	科目 0	科目 55	
				[]	[2]	[]	[2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 知能機械工学専攻（博士前期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通教育科目	大学院総合コミュニケーション科学	1・2前	2			1							
大学院教養教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2前		2		1						教育内容充実のため、専任准教授2名で対応（うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任）(22)	
	国際社会の政治・経済	1・2前		2			2						
	日本とアジアの近代史	1・2後		2									
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2後		2			1						
	幾何学基礎論	1・2前		2		1	1						
	解析学基礎論	1・2前		2			2		1				
	代数学基礎論	1・2前		2		1	1						
	幾何学特論	1・2後		2		1	1						
	解析学特論	1・2後		2				2	3	1			
	代数学特論	1・2後		2		1	1						
Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2後		2		1						教育内容充実のため科目を追加（高度な英語技術科目の増設）(23)		
Advanced International Academic Skills	1・2後		2				1				教育内容充実のため科目を追加（高度な英語技術科目の増設）(23)		
大学院実践教育科目	大学院輪講第一（Ⅰ）	1・2前	1			16	18	16	17	2	0	専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23) 専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23)	
	大学院輪講第一（Ⅱ）	1・2後	1			16	18	16	17	2	0		
	大学院輪講第一（Ⅲ）	1・2前	1			16	18	16	17	2	0		
	大学院輪講第一（Ⅳ）	1・2後	1			16	18	16	17	2	0		
	大学院技術英語	1・2前	2			1							
	ベンチャービジネス特論	1・2前		2									
	知的財産権特論	1・2後		2									
	先端技術開発特論	1・2後		2									
	ETL (Elementary Teaching Laboratory)	1・2通		2		4	2	1			1		
	大学院国際プロジェクト	1・2前		2		4	2	2					
	危機・限界体験特別実験	1・2通		2		4	2	1			1		
	大学院インターンシップ	1・2前		2									
	大学院インターンシップ（海外）	1・2前		2									
大学院インターンシップ（長期）	1・2前		4										
大学院インターンシップ（海外・長期）	1・2前		4										
大学院専門教育科目	先端ロボティクスコース 連携専門科目	知能機械工学専攻基礎	1・2前		2		16	18	16	17	2	0	専任教授・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23)
		熱工学基礎	1・2前		2				1				
		流体工学基礎	1・2前		2		1						
		バイオメカニクス基礎	1・2前		2				1				
		材料強度学基礎	1・2前		2				1				
		生産加工学基礎	1・2前		2		1		1				
		材料組織学基礎	1・2前		2				1				
		計測工学基礎	1・2前		2		1		1				
		ロボット工学基礎	1・2前		2				1				
		制御系設計学基礎	1・2前		2		1		1				
	専門展開科目（Ⅰ）	メカトロニクス特論	1・2後		2		1		1				
		ロボット応用工学特論	1・2後		2		1		1				
		ロボット機構制御特論	1・2後		2		2						
		運動計測学特論	1・2後		2		1						
	バーチャルリアリティー特論	1・2後		2				2	1				

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考				
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手					
大学院 専門 教育 科目		コンピュータビジョン特論	1・2後		2		1	1				教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22) 教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)			
		ロボット情報工学特論	1・2後		2		1	1							
		リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前		4		1								
		制御系設計応用	1・2後		4		1								
	専門 展開 科目 (Ⅱ)	設計システム工学特論	1・2後		2		1	1					専任教員・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23)		
		知的生産システム特論	1・2後		2			1							
		機械情報学特論	1・2後		2		1	1							
		力学系現象特論	1・2後		2		1	1							
		計算力学特論	1・2後		2		1								
		センサ信号処理学特論	1・2後		2		2								
		生体計測工学特論	1・2後		2		1	1							
		ロバスト制御工学特論	1・2後		2		1								
	組込み制御システム学特論	1・2後		2		1	1								
	機械システム コース	連携 専門 科目	知能機械工学専攻基礎	1・2前		2		16	18	16	17	2		0	専任教員・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23)
			熱工学基礎	1・2前		2				1					
			流体工学基礎	1・2前		2			1						
			バイオメカニクス基礎	1・2前		2				1					
			材料強度学基礎	1・2前		2				1					
			生産加工学基礎	1・2前		2			1	1					
材料組織学基礎			1・2前		2				1						
計測工学基礎			1・2前		2			1	1						
ロボット工学基礎			1・2前		2				1						
制御系設計学基礎			1・2前		2			1	1						
専門 展開 科目 (Ⅰ)		設計システム工学特論	1・2後		2		1	1				教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22) 教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)			
		知的生産システム特論	1・2後		2				1						
		機械情報学特論	1・2後		2		1	1							
		力学系現象特論	1・2後		2		1	1							
		計算力学特論	1・2後		2		1								
リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前		4		1										
制御系設計応用	1・2後		4		1										
専門 展開 科目 (Ⅱ)	メカトロニクス特論	1・2後		2		1	1				専任准教授1名が平成22年度に退職のため専任准教授1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)				
	ロボット応用工学特論	1・2後		2		1	1								
	ロボット機構制御特論	1・2後		2		2									
	運動計測学特論	1・2後		2		1									
	バーチャルリアリティー特論	1・2後		2				2	1						
	ロボット情報工学特論	1・2後		2		1	1								
	コンピュータビジョン特論	1・2後		2		1	1								
	センサ信号処理学特論	1・2後		2		2									
	生体計測工学特論	1・2後		2		1	1								
	ロバスト制御工学特論	1・2後		2		1									
組込み制御システム学特論	1・2後		2		1	1									
電子制御システム コース	連携 専門 科目	知能機械工学専攻基礎	1・2前		2		16	18	16	17			2	0	専任教員・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23)
		熱工学基礎	1・2前		2				1						
		流体工学基礎	1・2前		2			1							
		バイオメカニクス基礎	1・2前		2				1						
		材料強度学基礎	1・2前		2				1						
		生産加工学基礎	1・2前		2			1	1						
		材料組織学基礎	1・2前		2				1						
		計測工学基礎	1・2前		2			1	1						
		ロボット工学基礎	1・2前		2				1						
		制御系設計学基礎	1・2前		2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門 展開 科目 (Ⅰ)	センサ信号処理学特論	1・2後		2		2						
	生体計測工学特論	1・2後		2		1	1					
	ロバスト制御工学特論	1・2後		2		1						
	組込み制御システム学特論	1・2後		2		1	1					
	リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前		4		1						教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)
	制御系設計応用	1・2後		4		1						教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)
専門 展開 科目 (Ⅱ)	設計システム工学特論	1・2後		2		1	1					
	知的生産システム特論	1・2後		2			1					
	機械情報学特論	1・2後		2		1	1					
	力学系現象特論	1・2後		2		1	1					
	計算力学特論	1・2後		2		1						
	メカトロニクス特論	1・2後		2		1	1					
	ロボット応用工学特論	1・2後		2		1	1					
	ロボット機構制御特論	1・2後		2		2						
	コンピュータビジョン特論	1・2後		2		1	1					
	運動計測学特論	1・2後		2		1						
	バーチャルリアリティー特論	1・2後		2			2	1				専任教員1名が平成22年度に退職のため専任教員1名に変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
ロボット情報工学特論	1・2後		2		1	1						

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	情報経済システム特論	1・2・3後		2		1					教育内容充実のため、専任准教授1名 で対応(23)
	メディアセキュリティ特論	1・2・3前		2		1					
	ネットワークセキュリティ特論	1・2・3前		2			1				
	応用代数学特論	1・2・3前		2		1					
	ネットワークシステム特論	1・2・3前		2		1					
	離散情報構造特論	1・2・3前		2			1				
	ソフトウェアセキュリティ特論	1・2・3後		2			1				
	暗号理論特論	1・2・3後		2		1					
専門 上級 科目	総合情報学特論	1・2・3前	2			15	16				

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 情報・通信工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	大学院総合コミュニケーション科学	1・2・3前		2		1						
大学院教養教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2		1						教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(23)
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2			2					
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2			1					
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2・3後		2		1	1					
大学院教養教育科目	幾何学特論	1・2・3後		2								教育内容充実のため、専任准教授2名で対応（うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任）(22)
	解析学特論	1・2・3後		2			2	3	4			
	代数学特論	1・2・3後		2		1	1					
大学院教養教育科目	Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2・3後		2		1						教育内容充実のため科目を追加（高度な英語技術科目の増設）(23)
	Advanced International Academic Skills	1・2・3後		2			1					教育内容充実のため科目を追加（高度な英語技術科目の増設）(23)
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1～3通	4			23	16	17	1			専任教授・専任准教授・専任講師の退職、昇任、採用に伴う変更(23)
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2								実験教育内容充実のため教授2名、准教授1名、助教1名で対応(22)
	知的財産権特論	1・2・3後		2								
	先端技術開発特論	1・2・3後		2								
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		4	2	1		1		
	技術経営実践スクール	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ（海外）	1・2・3前		2								
大学院インターンシップ（長期）	1・2・3前		4									
大学院インターンシップ（海外・長期）	1・2・3前		4									
大学院専門教育科目	集積回路設計特論	1・2・3前		2		4	2					教育内容充実のため教授2名で対応(22)
	マイクロ波回路設計特論	1・2・3前		2				3	1			専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	環境電磁工学特論	1・2・3前		2		4	2	1				専任教授、専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	無線通信システム特論	1・2・3前		2		2	1					専任教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	情報理論特論	1・2・3後		2		4	1					専任教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	情報光学特論	1・2・3後		2		1						専任教授、専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	宇宙通信工学特論	1・2・3後		2		4	2	1				専任教授、専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	光通信システム特論	1・2・3後		2		4	2					教育内容充実のため教授2名で対応(22)
	暗号理論特論	1・2・3後		2		1						専任教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	センシング工学特論	1・2・3後		2		4	1					専任教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授1名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	マルチメディア信号処理特論	1・2・3後前		2		1	4		1			教育内容充実のため教授1名、講師1名で対応(23)
	信号解析学特論	1・2・3前		2				1				専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授2名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	伝送工学特論	1・2・3前		2				4	2			専任准教授の負担軽減のため平成22年度に専任准教授2名に変更した。なお、学生の教育に支障はない。(22)
	電磁波環境観測技術特論	1・2・3後		2		2	1					専任教授、専任准教授の負担軽減のため、兼任教員へ変更。なお、学生の教育に支障はない。(23)
	生体電子工学特論	1・2・3後		2		4	4					教育内容充実のため教授1名、准教授1名で対応(22)
非線形システム特論	1・2・3後		2				1					
ヒューマンインタフェース特論	1・2・3後		2				1					
音響システム特論	1・2・3前		2		1							

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 98	科目 0	科目 104	科目 6 []	科目 106 [8]	科目 0 []	科目 112 [8]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周

知方法」を記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 知能機械工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	大学院総合コミュニケーション科学	1・2・3前		2		1						
大学院教養教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2		1						教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(23) 教育内容充実のため、専任准教授2名で対応（うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任）(22)
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2			2					
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2・3後		2			1					
	幾何学特論	1・2・3後		2		1	1					
	解析学特論	1・2・3後		2			2	3	1			
	代数学特論	1・2・3後		2		1	1					
	Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2・3後		2		1						教育内容充実のため科目を追加（高度な英語技術科目の増設）(23)
	Advanced International Academic Skills	1・2・3後		2				1				教育内容充実のため科目を追加（高度な英語技術科目の増設）(23)
大学院実践教育科目	大学院輪講第二	1～3通	4			16	17	12	10			専任教員・専任准教授の昇任、採用に伴う変更(23)
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2								
	知的財産権特論	1・2・3後		2								
	先端技術開発特論	1・2・3後		2								
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		1	2	1			1	実験教育内容充実のため教授2名、准教授1名、助教1名で対応(22)
	技術経営実践スクール	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ（海外）	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ（長期）	1・2・3前		4								
大学院専門教育科目	メカトロニクス特論	1・2・3後		2		1	1					専任准教授1名が平成22年度に退職のため専任准教授1名に変更。なお、学生の教育には支障はない。(23)
	ロボット応用工学特論	1・2・3後		2		1	1					
	ロボット機構制御特論	1・2・3後		2		2						
	運動計測学特論	1・2・3後		2		1						
	バーチャルリアリティー特論	1・2・3後		2			2	1				
	コンピュータビジョン特論	1・2・3後		2		1	1					
	ロボット情報工学特論	1・2・3後		2		1	1					
	設計システム工学特論	1・2・3後		2		1	1					
	知的生産システム特論	1・2・3後		2			1					
	機械情報学特論	1・2・3後		2		1	1					
	力学系現象特論	1・2・3後		2		1	1					
	計算力学特論	1・2・3後		2		1						
	センサ信号処理学特論	1・2・3後		2		2						
	生体計測工学特論	1・2・3後		2		1	1					
ロバスト制御工学特論	1・2・3後		2		1							
組込み制御システム学特論	1・2・3後		2		1	1						
専門上級科目	知能機械工学特論	1・2・3前	2			16	16					

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません。）

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 33	科目 0	科目 35	科目 2	科目 35	科目 0	科目 37	
				[]	[2]	[]	[2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年度に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年度	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年度に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年度	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 先進理工学専攻 (博士前期課程)>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通教育科目	大学院総合コミュニケーション科学	1・2前	2			1						
大学院教養教育科目	技術者と安全・環境・倫理	1・2前		2		1						教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22)
	国際社会の政治・経済	1・2前		2			2					
	日本とアジアの近代史	1・2後		2								
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2後		2			1					
	幾何学基礎論	1・2前		2		1	1					
	解析学基礎論	1・2前		2			2		1			
	代数学基礎論	1・2前		2		1	1					
幾何学特論	1・2後		2		1	1					教育内容充実のため、専任准教授3名で対応(23)	
解析学特論	1・2後		2				2	3	1		教育内容充実のため、専任准教授2名で対応(うち1名は平成21年度に専任講師から専任准教授に昇任)(22)	
代数学特論	1・2後		2		1	1						
Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing	1・2後		2			1					教育内容充実のため科目を追加(高度な英語技術科目の増設)(23)	
Advanced International Academic Skills	1・2後		2				1				教育内容充実のため科目を追加(高度な英語技術科目の増設)(23)	
大学院実践教育科目	大学院輪講第一(Ⅰ)	1・2前	1			27	30	24	27	1		専任教授・専任准教授の退職、昇任、採用に伴う変更(23)
	大学院輪講第一(Ⅱ)	1・2後	1			27	30	24	27	1		
	大学院輪講第一(Ⅲ)	1・2前	1			27	30	24	27	1		
	大学院輪講第一(Ⅳ)	1・2後	1			27	30	24	27	1		
	大学院技術英語	1・2前	2			1						専任教授・専任准教授の退職、昇任、採用に伴う変更(23)
	ベンチャービジネス特論	1・2前		2								
	知的財産権特論	1・2後		2								
	先端技術開発特論	1・2後		2								
	ETL(Elementary Teaching Laboratory)	1・2通	2			1	2			1		実験教育内容充実のため教授2名、准教授1名、助教1名で対応(22)
	大学院国際プロジェクト	1・2前	2			1	2			2		実践教育内容充実のため教授2名、准教授2名で対応(22)
	危機・限界体験特別実験	1・2通	2			1	2			1		実験教育内容充実のため教授2名、准教授1名、助教1名で対応(22)
	大学院インターンシップ	1・2前	2									
大学院インターンシップ(海外)	1・2前	2										
大学院インターンシップ(長期)	1・2前	4										
大学院インターンシップ(海外・長期)	1・2前	4										
大学院専門教育科目	①電子工学コース 連携専門科目	先進理工学専攻基礎	1・2前	2		1	4					教育内容充実に向け、准教授4名によりクラス分け開講するため(22)
		先端半導体デバイス基礎	1・2前	2				1				
		光・量子エレクトロニクス基礎	1・2前	2			1					
		光デバイス工学基礎	1・2前	2			1					
		量子物理工学基礎	1・2前	2			1	1				より教育内容に即した担当者への変更(22)
		固体物性論基礎	1・2前	2			1					
		分子細胞生物学基礎	1・2前	2					1			
		生体情報学基礎	1・2前	2				1	1			教育内容充実のため准教授2名で対応(22)
		集積回路基礎	1・2前	2			1					
		電気化学	1・2前	2			1					
	②専門展開科目	環境材料学特論	1・2前		2		1					
		ナノフォトニクス特論	1・2前		2				1			
		光通信システム特論	1・2後		2		1	2				教育内容充実のため教授2名で対応(22)
	ナノエレクトロニクス特論	1・2後前		2				1			他コースと開講学期を揃えるための修正(教育効果向上を目指す)(22)	
	超伝導デバイス特論	1・2後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
大学院専門教育科目	①	計算物性学特論	1・2後		2			1						
		集積回路設計学特論	1・2後		2			1						
		光通信デバイス特論	1・2後		2		1							
		リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前		4		1					教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)		
		制御系設計応用	1・2後		4		1					教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)		
	②	光エレクトロニクスコース	先進理工学専攻基礎	1・2前		2		4	4				教育内容充実に向け、准教授4名によりクラス分け開講するため(22)	
			連携専門科目	先端半導体デバイス基礎	1・2前		2			1				
				光・量子エレクトロニクス基礎	1・2前		2		1					
				光デバイス工学基礎	1・2前		2		1					
				量子物理工学基礎	1・2前		2		1	4				より教育内容に即した担当者への変更(22)
		固体物性論基礎		1・2前		2		1						
		専門展開科目	画像情報学基礎	1・2前		2			1					
			集積回路基礎	1・2前		2		1						
			光化学	1・2前		2			1					
			固体・ソフトマターフォトンクス特論	1・2前		2		1						
	ナノフォトンクス特論		1・2前		2			1						
	③	応用物理学コース	光計測特論	1・2前		2			1					
			連携専門科目	情報光工学特論	1・2後		2		1					
				光通信システム特論	1・2後		2		4	2				教育内容充実のため教授2名で対応(22)
				光通信デバイス特論	1・2後		2		1					
生体計測工学特論				1・2後		2		1	1				教育内容充実のため教授1名、准教授1名で対応(22)	
リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前			4		1					教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)			
④	応用物理学コース	制御系設計応用	1・2後		4		1					教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)		
		連携専門科目	先進理工学専攻基礎	1・2前		2		4	4				教育内容充実に向け、准教授4名によりクラス分け開講するため(22)	
			量子物理工学基礎	1・2前		2		1	4				より教育内容に即した担当者への変更(22)	
			固体物性論基礎	1・2前		2		1						
			集積回路基礎	1・2前		2		1						
			先端半導体デバイス基礎	1・2前		2			1					
			光・量子エレクトロニクス基礎	1・2前		2		1						
			光デバイス工学基礎	1・2前		2		1						
			応用電磁気学	1・2前		2		1	1				教育内容充実のため教授1名、准教授1名で対応(23)	
			固体量子工学	1・2前		2			1					
			専門展開科目	低温量子物性工学特論	1・2前		2		1					
		固体量子工学特論		1・2前		2		1	4				より教育内容に即した担当者への変更(22)	
		統計物理工学特論		1・2前		2			1					
		現代レーザー分光学特論		1・2前		2		1						
		原子光工学特論		1・2前		2		1	2	1			専任准教授1名が専任教員に昇任(23) 教育内容充実のため准教授2名で対応(22)	
⑤	専門展開科目	ナノエレクトロニクス特論	1・2前		2			1						
		凝縮体量子工学特論	1・2後		2			1						
		電子物性特論	1・2後		2		1	1				教育内容充実のため教授1名、准教授1名で対応(22)		
		X線結晶学特論	1・2前		2			1						
		計算物性学特論	1・2後		2			1						
⑥	専門展開科目	リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前		4		1					教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)		
		制御系設計応用	1・2後		4		1					教育内容充実のため科目を追加（高度な情報技術科目の増設）(22)		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
④ 生体機能システムコース 専門展開科目	連携専門科目 先進理工学専攻基礎	1・2前		2		4	4				教育内容充実に向け、准教授4名によりクラス分け開講するため(22)
	量子物理工学基礎	1・2前		2		1	4				より教育内容に即した担当者への変更(22)
	固体物性論基礎	1・2前		2		1					
	分子細胞生物学基礎	1・2前		2			1				
	生体情報学基礎	1・2前		2			4	2			教育内容充実のため准教授2名で対応(22)
	電気化学	1・2前		2		1					
	光化学	1・2前		2			1				
	確率統計	1・2前		2		1					
	バイオメカニクス基礎	1・2前		2		1	4	1			教育内容充実のため教授1名、講師1名で対応(22)
	固体物性化学特論	1・2前		2		1					
	X線結晶学特論	1・2前		2			1				
	化学反応論特論	1・2前		2		4	1				より教育内容に即した担当者への変更(22)
	生体情報システム学特論	1・2前		2		1					
	物質生命情報学特論	1・2前		2							
	ヒューマンインタフェース特論	1・2後		2			1				
	生体有機化学特論	1・2後		2		1					
	無機物質化学特論	1・2後		2		1	1				教育内容充実のため教授1名、准教授1名で対応(22)
	生体計測工学特論	1・2後		2		1	1				教育内容充実のため教授1名、准教授1名で対応(22)
	運動計測学特論	1・2後		2		1					
	材料分析特論	1・2後		2		1					
ゲノム生物学特論	1・2後		2					1			
リアルタイム制御系設計基礎論	1・2前		4		1					教育内容充実のため科目を追加(高度な情報技術科目の増設)(22)	
制御系設計応用	1・2後		4		1					教育内容充実のため科目を追加(高度な情報技術科目の増設)(22)	

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 94	科目 0	科目 100	科目 6 []	科目 104 [10]	科目 0 []	科目 110 [10]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<情報理工学研究科 先進理工学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通 教育科目	大学院総合コミュニ ケーション科学	1・2・3前		2		1						
大 学 院 教 養 教 育 科 目	技術者と安全・環境・倫理	1・2・3前		2		1						
	国際社会の政治・経済	1・2・3前		2			2					
	日本とアジアの近代史	1・2・3後		2								
	科学技術と歴史・経済・社会	1・2・3後		2			1					
	幾何学特論	1・2・3後		2		1	1					教育内容充実のため、専任准教授3名 で対応(23)
	解析学特論	1・2・3後		2			2	3	+			教育内容充実のため、専任准教授2名 で対応（うち1名は平成21年度に専任 講師から専任准教授に昇任）(22)
代数学特論 Fundamental Concepts of Discrete-time Signal Processing Advanced International Academic Skills	1・2・3後		2		1	1						
	1・2・3後		2		1						教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23)	
	1・2・3後		2			1					教育内容充実のため科目を追加（高度 な英語技術科目の増設）(23)	
大 学 院 実 践 教 育 科 目	大学院輪講第二	1～3通	4			26	30	29	24			専任教授・専任准教授の退職、昇任、 採用に伴う変更(23)
	ベンチャービジネス特論	1・2・3前		2								
	知的財産権特論	1・2・3後		2								
	先端技術開発特論	1・2・3後		2								
	ETL (Elementary Teaching Laboratory)	1・2・3通		2		+	2	1		1		実験教育内容充実のため教授2名、准 教授1名、助教1名で対応(22)
	技術経営実践スクール	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ（海外）	1・2・3前		2								
	大学院インターンシップ（長期）	1・2・3前		4								
大学院インターンシップ（海外・長期）	1・2・3前		4									
大 学 院 専 門 教 育 科 目	専 門 展 開 科 目	環境材料学特論	1・2・3前		2		1					
		ナノフォトニクス特論	1・2・3前		2			1				
		光通信システム特論	1・2・3前		2		+	2				教育内容充実のため教授2名で対応 (22)
		ナノエレクトロニクス特論	1・2・3後前		2				1			他コースと開講学期を揃えるための修 正（教育効果向上を目指す）(22)
		超伝導デバイス特論	1・2・3後		2		1					
		計算物性学特論	1・2・3後		2			1				
		集積回路設計学特論	1・2・3後		2		1					
		光通信デバイス特論	1・2・3後		2		1					
		固体・ソフトマターフォトニクス特論	1・2・3前		2		1					
		光計測特論	1・2・3前		2			1				
		情報光学特論	1・2・3後		2		1					
		生体計測工学特論	1・2・3後		2			1				
		低温量子物性工学特論	1・2・3前		2		1					
		固体量子工学特論	1・2・3前		2		1	+				より教育内容に即した担当者への変更 (22)
		統計物理工学特論	1・2・3前		2			1				
		現代レーザー分光学特論	1・2・3前		2		1					
		原子光学特論	1・2・3前		2		1	+	2	1		専任准教授1名が専任教授に昇任(23) 教育内容充実のため准教授2名で対応 (22)
		凝縮体量子工学特論	1・2・3後		2				1			
		電子物性特論	1・2・3後		2		1	1				教育内容充実のため教授1名、准教授 1名で対応(22)
		X線結晶学特論	1・2・3前		2			1				
		固体物性化学特論	1・2・3前		2		1					
		化学反応論特論	1・2・3前		2		1					
		生体情報システム学特論	1・2・3前		2		1					
		物質生命情報学特論	1・2・3前		2				1			
		ヒューマンインタフェース特論	1・2・3後		2				1			
		生体有機化学特論	1・2・3後		2		1					
		無機物質化学特論	1・2・3後		2		1					
運動計測学特論	1・2・3後		2		1							
材料分析特論	1・2・3後		2		1							
ゲノム生物学特論	1・2・3後		2					1				
専 門 上 級 科 目	先進理工学特論	1・2・3前	2			27	21	1				

- (注) ・ 事前伺い手続き書類の「教育課程等の概要」に準じて作成してください。
 ・ 設置時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成22年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1) 授業科目表」にはその状況を反映させてください。（ただし、「(3) 未開講科目」欄には記載する必要はありません）。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 47	科目 0	科目 49	科目 2 []	科目 49 [2]	科目 0 []	科目 51 [2]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。（ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。）

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注) ・設置時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注) ・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	電気通信大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
電気通信学部 (昼間コース)								東京都調布市 調布ヶ丘1丁目 5番地1号	平成22年度から 学生募集停止
情報通信工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
情報工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
電子工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
量子・物質工学科	4	-		-			平成11年度		
知能機械工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
システム工学科	4	-		-			平成11年度		
人間コミュニケーション学科 (夜間主コース)	4	-		-	工学		平成11年度		
情報通信工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
情報工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
電子工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
量子・物質工学科	4	-		-			平成11年度		
知能機械工学科	4	-	3年次 5	-			平成11年度		
システム工学科	4	-		-			平成11年度		
人間コミュニケーション学科	4	-		-			平成11年度		

(注) 1 本調査の対象となっている大学等の設置者が、すでに設置している大学の学部、学部の学科について状況を記入してください。

(大学院に係るものについては、記入する必要はありません。)

2 事前伺い手続き書類の「設置計画の概要」に準じて作成してください。

3 「定員超過率」欄には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科の記載は不要です。

4 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、備考欄に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

4 教員組織の状況

<情報理工学研究科 総合情報学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
33	0	33	0	35	1	36		
(33)	(0)	(33)	(0)	[2]	[1]	[3]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

4 教員組織の状況

<情報理工学研究科 総合情報学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
24	6	30	0	23	9	32		
(24)	(6)	(30)	(0)	[Δ1]	[3]	[2]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

4 教員組織の状況

<情報理工学研究科 情報・通信工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
47	0	47	0	47	3	50		
(47)	(0)	(47)	(0)	[0]	[3]	[3]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

4 教員組織の状況

<情報理工学研究科 情報・通信工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
38	7	45	0	40	6	46		
(38)	(7)	(45)	(0)	[2]	[Δ1]	[1]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

4 教員組織の状況

<情報理工学研究科 知能機械工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
32	0	32	0	33	0	33		
(31)	(0)	(31)	(0)	[1]	[0]	[1]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

4 教員組織の状況

<情報理工学研究科 知能機械工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
28	4	32	0	25	8	33		
(27)	(4)	(31)	(0)	[Δ3]	4	1	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：Δ1)

4 教員組織の状況

<情報理工学研究科 先進理工学専攻（博士前期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
48	0	48	0	56	0	56		
(47)	(0)	(47)	(0)	[8]	[0]	[8]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

4 教員組織の状況

<情報理工学研究科 先進理工学専攻（博士後期課程）>

専任教員数

設置時の計画				変更状況				備考
研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	研究指導教員	研究指導補助教員	計	助手	
45	3	48	0	53	4	57		
(45)	(2)	(47)	(0)	[8]	[1]	[9]	[]	

(注) ・ 「設置時の計画」欄には、設置時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」欄には、平成23年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。
(記入例：1名減の場合：△1)

5 その他全般的事項

<情報理工学研究科>

情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成23年 7月15日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.uec.ac.jp/about/publicinfo/open.html>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。

なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。